

福井ふるさと学びの森 安全活動講習会兼情報交換会  
～福井ふるさと学びの森ネットワーク大会 2016～

- 1 日 時：平成28年11月27日（日）10：30～18：00
- 2 場 所：ノーム自然環境教育事務所、ハックルベリーの森  
六呂師高原ウォーキングセンター（すべて大野市南六呂師）
- 3 参加者：14団体23名
- 4 講 師：岐阜県立森林文化アカデミー 副校長 川尻 秀樹 氏  
進 行：ノーム自然環境教育事務所 代表 坂本 均 氏
- 5 開催概要：

【六呂師高原ウォーキングセンター／10:30～11:10】

(1) 開会あいさつ、スケジュール確認

- ・開会あいさつ（里山里海湖研究所 野坂副所長）
- ・講師紹介（川尻秀樹氏）
- ・研修運営団体紹介（ノーム自然環境教育事務所）



開会あいさつ



講師紹介

(2) 参加者自己紹介

- ・名簿順に自己紹介および活動紹介  
（各1分程度）



自己紹介タイム

(3) ネットワーク事業説明、貸出資機材紹介

- ・学びの森ネットワーク事業の説明
- ・学びの森への支援策説明
- ・貸出資機材の紹介  
（すべて事務局から）



事業説明



貸出機材展示コーナー

【ハックルベリーの森／11:15～12:15】

(4) ハックルベリーの森フィールドガイド

(案内：ノーム自然環境教育事務所 坂本代表)

- ・ハックルベリーの森での活動内容の紹介
- ・同 での安全対策の紹介
- ・その都度、気付いたことを意見交換
- ・各参加者は自分達の団体やフィールドとの違いについて質問したり、今後取り入れられそうなプログラムについてメモをとりながら熱心に聞いていた。
- ・坂本氏からは季節毎のプログラム、対象年齢毎の説明内容などの違いについても説明があった。
- ・川尻氏からはクロモジの名前の由来、説明の手法など詳しく説明していただいた。
- ・休憩時のお茶に使うクロモジの小枝とササの葉も各自採取



フィールドガイドの様子

【ノーム自然環境教育事務所／12:30～18:10】

(5) 昼食 (12:30～)

(6) リスクマネジメントのワークショップ (13:20～)

①午前中のフィールドガイドで気付いた点

②野外活動時の危険な動植物および対処法

- ・ 4班に分かれワークショップ形式で①、②について意見をまとめ、発表した。

- ・ 短い時間ではあったが、参加者は熱心に議論され、各班ともかなり多くの意見が出された。

- ・ お互いに発表することで、多くの意見を参加者が共有することができた。



発表の様子



班別意見交換の様子

(7) 休憩 (14:30～)

- ・ ハックルベリーの森で採った笹の葉やクロモジのお茶を飲み比べ（クロモジの枝は洗ってそのままお湯の中へ、笹の葉は軽くあぶった後でお湯に入れた。）

- ・ 参加者からは簡単で美味しく作れたことから自分達の活動の中でぜひ作ってみたいとの声が多かった。



クロモジ茶・笹茶の準備および飲み比べの様子

(8) 講習会／講師：川尻氏 (14:45～)

①ワークショップに対する講評

- ・ 危険な動植物についての詳しい説明。
- ・ どこまでを危険とするかが難しいことも解説
- ・ 救急セットの中にポイズンリムーバやダニ除去器具が必要である点も紹介



リスクマネジメント講座



道具の使い方

②リスクマネジメントの基礎知識（別紙説明資料）

- ・ 自然体験活動におけるリスクの基本的な事項の講義
- ・ 最近の判例を引用しながら、リスクを軽視すると億単位の賠償問題になることを紹介
- ・ 安全対策の理解のためには「やって見せ、言って聞かせ、させてみること」が必要

③道具の安全な使い方（荒天の為屋内で実施）

- ・ チェーンソー、刈り払い機、鉋等の安全な使い方の説明
- ・ 作業時の服装（専用のズボン、ブーツ、手袋等）の重要性の説明

(9) 交流会&情報交換会 (17:00～)

- ・ 里山料理を味わいながらの交流会、情報交換会（トチ餅、アジメドジョウ、里芋、のっぺい汁等）
- ・ 短い時間ではあったが、盛りだくさんの里山料理を食べながらの交流会・意見交換会は大変盛り上がった。



交流会の様子



里山料理

(10) 閉会 (18:10)

※なお、荒天の為、午後のプログラムはすべてノーム自然環境教育事務所内で実施。

また、当初予定していた荒天時プログラムについての意見交換は時間がなく中止。